

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第4回 所沢市地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和4年2月4日(金) 午前10時から午前11時45分まで
開 催 場 所	市庁舎 8階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	武熊 雅郎、本多 美佐保、柴田 志津子、横溝 哲夫、 玉津島 一誠、齊原 潤(代理:佐藤氏)、榎本 聡、 山内 智矢、関根 肇、加藤 和伸、藤田 貢、尾崎 晴男、 清家 裕之(代理:森氏)、伊藤 太佳博、秋山 泰輝、 肥沼 宏至、川上 一人、鈴木 明彦、埜澤 好美、 高橋 優(代理:柴田氏)、黛 浩一郎
欠 席 者 の 氏 名	大石 京、鈴木 由紀子、小河 憲司
議 題	(1) 所沢市地域公共交通計画の検討状況について (2) 「ところワゴン」について ①スケジュール変更について ②停留所の変更について (3) その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料1 所沢市地域公共交通計画の策定について ・ (参考資料) ところバス利用者アンケート(コース別結果) ・ (参考資料) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業 評価(計画策定等に係る事業) ・ 資料2-1 ところワゴンについて ・ 資料2-2 ところワゴン変更・導入スケジュール ・ 資料2-3 ところワゴン【三ヶ島地区】【年次】集計表(人数& 収入) ・ 資料2-4 三ヶ島地区ところワゴン 停留所の移設について ・ 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げ る協議が調っていることの証明書 ・ (横溝委員提供資料) ところワゴンで史跡めぐり ・ 資料3 令和4年度所沢市内循環バス「ところバス」路線等の 見直しについて

担 当 部 課 名	街づくり計画部：畑中次長、佐藤参事 都市計画課：高野課長、板垣室長、小暮主査、盛清主査、 秋葉主査、杉本主任、松田主任 【事務局】：街づくり計画部 都市計画課 電話 04-2998-9192
-----------	---

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
都市計画課	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議成立の報告（出席者21名） <p>2 会長挨拶</p> <p>（以下、尾崎会長が議長となり進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議は公開 ・傍聴者：4人 <p>3 議事</p> <p>（1）所沢市地域公共交通計画の検討状況について</p>
事務局	<p>※資料1及び参考資料をもとに、所沢市地域公共交通計画の検討状況について説明</p>
議長	<p>計画策定のため、市民、ところバス利用者、公共交通事業者、市内事業所を対象に調査を実施したとのことであるが、意見、質問はあるか。</p>
委員	<p>「買い物」と言っても、欲しい物により異なる店に行くと考えられるが、ひとまとめにして良いのか。</p>
事務局	<p>アンケートでは、「食料品、日用品の買い物」として質問しているため、回答者の認識は統一されている。</p>
委員	<p>「駅まで歩いて、鉄道に乗って」という場合は、「徒歩」「鉄道」の両方を回答しているのか。</p>
事務局	<p>その場合は、代表的な手段として「鉄道」のみの回答となっている。</p>
委員	<p>ところバスの利用状況を把握するためには、便別での分析や休日の利用データを調査することも必要ではないか。</p>
事務局	<p>便別の乗降者数は、コース別結果で示している。アンケート結果をより詳細に分析することも可能である。</p> <p>休日の利用状況調査については、今後検討する。</p>

委員	バスの利用を忌避する理由として、市内の道路の交通渋滞による発着の遅れがあると考えているが、そのような結果は出ているか。
事務局	市民アンケートの結果では、ところバスの「改善して欲しい点」としては「発着の遅れ」が上位にきている。一方、「利用しない理由」としては下位である。市内の道路の交通渋滞については、交通にも大きな影響を与える要素であるため、関係部局と協力して改善に当たりたい。
委員	ところバスの運行目的として「交通不便地域の解消」を挙げていたが、市の政策としてのゼロカーボンシティや観光客誘致に対して、公共交通がより積極的な姿勢で貢献していく必要があるのではないか。
事務局	公共交通施策を考える上でも、市全体の政策の方向性に沿っていることは重要であると認識している。
議長	来年度から作成予定の立地適正化計画の検討状況も、地域公共交通協議会にて報告いただき、相互に連携して進めるようにしたい。
事務局	(2) ①ところワゴンのスケジュール変更について ※資料 2-1、2-2 及び 2-3 をもとに、柳瀬地区、富岡地区ところワゴンのスケジュール変更及び三ヶ島地区のルート見直しのスケジュールについて説明
議長	車両納入時期の遅れ等の影響により、柳瀬地区、富岡地区でのところワゴンの運行が予定よりも遅れるとの報告、そして三ヶ島地区のルート見直しのスケジュールの報告であるが、意見、質問はあるか。
委員	車両メーカーから車両納入時期の目安は示されているのか。
事務局	現在のところ納入時期は未定である。車両をとところワゴンの仕様に架装する期間を考慮し、柳瀬地区は少なくとも半年延期を見込んでいる。
委員	林・糞谷ルートは、商店街や病院を經由しておらず、また狭山ヶ丘

	<p>駅に行くのに遠回りになる場合があり、住民の利用ニーズに合っていないという意見が地域住民から出てきている。ルート改善について、どのように考えているか。</p>
事務局	<p>和ヶ原商店街への乗り入れや、片回りを両回りにすることなどを検討しているところである。</p>
委員	<p>ところワゴンの導入により、地域の交通行動がどのように変化しているのか。</p>
事務局	<p>同地域で運行するところバス西路線（新所沢・三ヶ島コース）の利用者は、ところワゴンの運行開始後、やや少なくなっている。</p>
委員	<p>三ヶ島地区のところワゴンの導入には約5年の話し合い期間が必要であった。柳瀬地区、富岡地区でも、地域との綿密な調整を行い、迅速に導入することが望まれる。</p>
議長	<p>このスケジュールを土台として、引き続きところワゴンの実証を進めていくということを協議会として了承頂くことで問題無いか。</p> <p>（全員了承）</p>
事務局	<p>(2) ②ところワゴンの停留所の変更について ※資料 2-4 及び証明書をもとに、「和ヶ原 3 丁目」停留所の移設について説明</p>
議長	<p>安全性を高めるため停留所を移設するとの報告であるが、意見、質問はあるか。</p>
委員	<p>現在のところワゴンの「和ヶ原 3 丁目」停留所は、資料の写真では交差点にかかっているように見える。いわゆる危険バス停の対象となる停留所がある場合には、速やかに移設の検討に入ってほしい。</p>
事務局	<p>ところワゴンについては、同様の状況の停留所はこの他には無いが、ところバスの停留所に該当があるため、速やかに改善してまい</p>

議長	<p>りたい。</p> <p>議題の「和ヶ原3丁目」停留所の移設については、協議が整ったものとしてよろしいか。</p> <p>(全員了承)</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>※資料3をもとに、所沢市内循環バス「ところバス」路線等の見直しの進捗状況について説明</p> <p>次回の協議会は令和4年5月の開催を予定している。日時及び会場は後日連絡する。</p>
議長	<p>以上で議事を終了する。</p> <p>令和3年度第4回所沢市地域公共交通協議会を終了する。</p> <p>閉会</p>